

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-45 国民健康保険高額療養資金貸付事業				タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				18	国民健康保険高額療養資金貸付事業
主管課	保険年金課		関連課			
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	0千円	0千円	指標と評価		
	(国・県)	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円			
	(一般財源)	0千円	0千円			
	人員配置数					
	人件費					
協働の パートナー				指標		
事務事業 運営経費	総事業費				評価	
	市民1人当 りの経費				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	対象者1人 当りの経費				目標値	実績値
	ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				20年度
					21年度	
					22年度	
					23年度	
					最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 近年において新規の当該貸付事業の利用者は、皆無であるが、当該貸付事業を廃止した場合における制度上の不整合について詳細な検討が必要であること。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 県の助言を受け、検討をした。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 当該貸付事業の存続意義は希薄であるが、当該事業を廃止場合にどのような制度上の不整合が生じるかの最終検討が終わっていないこと。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 他市の状況の把握を行い、貸付条例の廃止についての検討を行う。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	当該貸付事業に優る代替制度が定着しつつあるため、当該貸付事業の廃止の適否を検討する。		評価結果	改善の必要性	当該制度の位置づけ及び必要性を吟味し、廃止の方向で検討を進める。
D	有			D	有	
課長名		内海 正彦		部名・部長名		健康福祉部 石井 和子